

1
2011
No.276
JA広報

賀
心





謹賀新年

計根別農業協同組合

信用事業担当理事	理事兼務参事	監事	監事	代表	理事	理事	理事	理事	理事	副組合長	代表理事組合長	
職	谷	佐	浮	須	影	北	石	本	柵	太	鹿	西
員	川	藤	中	崎	山	村	毛	田	木	田	野	塚
一	好	良	喜					芳	真		一	秀
同	則	文	佐	智	孝	篤	剛	明	夫	誠	博	夫



年頭ご挨拶

が蓄積される結果となりました。一方、当地域を見ますと一昨年の冷湿害の影響が残る中、四月には宮崎県において口蹄疫が発生し、毎日のようにテレビ・新聞等で報道され、私達家畜を飼う酪農家にとっては大きな不安と心配をしながら防疫に努め

る毎日でしたが、行政、連合会、農協が連携し更には地域住民ご理解を頂き、全国共進会を始めとする多くのイベント等を中止し道内における発生を防ぐことができました。つくづく、家畜伝染病の恐ろしさを思い知らされました。年末には韓国での口蹄疫発生もあり、まだまだ予断を許さない状況下でありますので、尚一層防疫に努めなければならぬと思っております。

又、五月までは前年を思わせる寒い春でしたが、六月頃から九月中旬の間は、過去に経験したことが無いほど暑い日が続きました。このことにより、生乳成分の低下、乳牛の事故、受胎率の低下等様々な影響が出てきました。更に粗飼料においては量的確保はなされましたが、その養分等においては一昨年のも

のより不安定という分析結果が出ており、今後の生乳生産に影響があるものと危惧していると

昨年一年間の酪農経営収支を見ましても配合飼料を始めとする生産資材の高止まり、四月以降の乳価の値下がり、各種奨励金の打ち切り等により大変厳しい年でありました。加えて、十月の臨時国会における菅総理大臣の「TPP（環太平洋経済連携協定）参加発言」は非常に驚き、関係機関挙げての阻止運動に奔走する事態となっております。このことは第一次産業ばかりでなく広く国民にも理解を得た運動として展開し断固阻止しなければなりません。

以上のとおり昨年は酪農業界にとりましては総じて良い年とは言えませんでした。とはいえ、私達はこのような社会、経済状況の中でも前に向かって進まな

ければなりません。

昨年の総会でご承認頂きました「地域活性化プロジェクト構想」の一つであります「TMRセクター」について、今秋稼働に向けて準備を進めているところであり、地域に活力が生まれ担い手の方々が夢を語る「きっかけ」になってくれることを切に願いますし、数年来施設投資の無かったこの地域に牛舎建設等の話題が生まれることを期待すると同時に、農協としてもその相談には十分応えたいと思っております。

酪農経営環境の厳しい中、組合員・農協が共に連携をとり地域の発展と酪農経営安定のために努力することをお誓いし、今年こそ気候に恵まれ組合員の皆様も健康で豊穡の秋を迎えることができますよう、衷心よりご祈念申し上げます。

昨年一年間の酪農経営収支を見ましても配合飼料を始めとする生産資材の高止まり、四月以降の乳価の値下がり、各種奨励金の打ち切り等により大変厳しい年でありました。加えて、十月の臨時国会における菅総理大臣の「TPP（環太平洋経済連携協定）参加発言」は非常に驚き、関係機関挙げての阻止運動に奔走する事態となっております。このことは第一次産業ばかりでなく広く国民にも理解を得た運動として展開し断固阻止しなければなりません。

以上のとおり昨年は酪農業界にとりましては総じて良い年とは言えませんでした。とはいえ、私達はこのような社会、経済状況の中でも前に向かって進まな

ければなりません。



前進あるのみ

代表理事組合長 西塚秀夫



年頭ご挨拶



年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会 会長 飛田 稔章

組合員をはじめJA役職員の皆様方が、希望に満ちた平成二十三年の新春をご家族とともに迎えられたことを心からお慶び申し上げます。

昨年の北海道農業は、まさに異常気象にみまわれた一年でありました。春先の天候不順が一転し六月には好天に恵まれ、豊作の出来秋に大きな期待を高めました。夏以降、猛暑・豪雨等により、作目全般にわたり総じて収量低下や品質低下が見られ、生産者・JAの努力が報われない厳しい出来秋となりました。

また、北海道農業は、農業者の高齢化と担い手の不足など、地域農業の構造変化が続く中で、農地制度改革や食料・農業・農村基本計画の見直し、平成二十二年の米モデル対策を経て平成二十三年は水田経営に加え畑作経営で実施される戸別所得補償制度など農業政策は大き

な転換期を迎えております。

特にTPP（環太平洋連携協定）に関しては、菅首相の所信表明演説での唐突な参加検討の表明以来、国内は激震が走り大きく揺れています。JAグループ北海道は、この問題が北海道にとつて重大な事柄であり、経済団体・消費団体などとも連携し、JAグループ北海道をはじめ漁業・林業に加え、道経連・道消費者協会等五十六団体共催のもとにオール北海道で昨年十一月十二日『地域社会のあり方等「この国のかたち」を問う道民総決起大会』を開催し、千七百人もの参加をいただき「交渉参加の断固阻止」を訴えました。大会アピールをうけ、直ちに「北海道農業・農村確立連絡会議」として、北海道知事らとともに、政府や与野党に「農業者はしっかりと生産し、国民にとって大事な食料を供給する」という、この基本を崩さないよう」

強く要請いたしました。

この問題は、まさに「この国のかたち」のゆくえが憂慮される事態であり、組合員の営農と生活を守るためにも政府の暴走を断じて許すことはできません。今後も北海道の総力を挙げて強力な運動を展開してまいります。

さて、本年は「協同の力で築く「あすの食をささえる北海道農業」」を主題に開催した第二十六回JA北海道大会の実践二年目を迎えます。この決議事項である「北海道農業の潜在能力フル発揮への挑戦」は、国民の命の根源である食料生産を担う組合員が安心して農業経営に従事し、さらなるステップアップを図り、食料自給率の向上に寄与し安全・安心な農畜産物の安定供給を通じて、消費者の皆さんに北海道農業を応援していただくための取り組みです。また、JA経営では「協同と

信頼の絆で築く新時代のJA」の実践によつて、経営の健全化と強靱な経営基盤を確立し、組合員の期待に応じられる高度な事業機能を有するJAとなることをめざすものであります。

今後、景気の低迷や農業貿易交渉等の進展によつては、農業への影響が大きく懸念されますが、全道の組合員の皆様をはじめJA役職員が「一人は万人のために、万人は一人のために」という協同組合の理念をよりどころにして、JAへの結集を強め協同運動を強力に展開することにより、この苦境を打開し未来を切り開くものと確信しております。

本年こそは災害がなく、豊穡の出来秋を迎えることができ、北海道農業の発展と成長をめざし飛躍の「卯年」となりますよう心から祈念申しあげ、新年のご挨拶といたします。



年頭ご挨拶



次代に繋ぐために

参事 佐藤良文

皆様方におかれましてはそれぞれの思いのなかにも健やかな新年を迎えられたことと拝察し、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

毎年今年こそは穏やかな一年であってほしいと願うのですが、昨年は宮崎にて発生した口蹄疫禍に震撼させられ、長引く猛暑に牛達もうだり、挙句の果てはTPP発言問題。そのどれをとっても業界にあつては想定し難いことでありました。結果、やはり今年も天候をはじめ取り巻く環境が穏やかな一年であつて欲しいと皆で願うところがあります。

昨年十一月に当農協が実習生として受け入れている栃木県矢板高校の「開校百周年記念式典」への出席の機会を頂きました。この受入の歴史を紐解きますと昭和三十六年からということなので五十年に及ぶお付き合いとなり、開校百年の丁度半分の歴史が刻まれていることになりました。

その式典終了後の祝賀会の席上での出来事ですが、私の席に二人の同校OBが見えられ「やー良く来てくれました、懐かしい!」と、涙ぐまなばかりに手を握り締めての一言。私とは面識もないのに、「計根別」と聞いただけで四十数年前を思い出して感極まったのでしよう。当初は、「援農隊」と称していたようですが、片道二泊三日の旅程で約一ヶ月の援農、未知の世界に行く不安は計り知れないものがあつたと推察できま

すし、当時は食文化も違い、それだけに体験した印象も強いものがあつたと思われれます。何れにしる「一期一会」が織りなすもの、取分け多感な十代の出会いがもたらす効果を象徴する一コマでしたが、今でも実習を終えた後、「生徒が変わる」と先生が口々に話されるのを聞く(今となつては受け入れる組合員さんは大変...)と思いつつも、継続して上げなければならぬと考える次第です。

さて、明けて平成二十三年、世界経済はどうなるのか、政策はどう変わるのか等々あり八方塞がりの感もありますが、ここは足元を見つめ「地域としてできることをやろう」という信念を持つて前に進むことが、次代に繋がる一縷の道と考えます。

昨年掲げた地域活性化プロジェクトの補足でもありますが、地域酪農の十年後を想定したとき、以下のことが危惧されます。

- 一、後継者がいなく健康・体力に不安を感じる経営主が増える。
- 二、補助事業予算の縮減等により草地改良面積が更に減少してくる。(生産基盤の脆弱化が顕著になる)
- 三、個別完結型大型投資は益々困難になってくる。これは、単に投資意欲が減退している時勢と違うのではなく、補助事業の優先採択要件が「共同とりくみ」にシフトしてきていることが大きな要因です。

四、離農・休農者の増加により、周囲(酪農家)の草地受け皿機能に限界がある↓耕作放棄地の発生が懸念される。

自然体で試算すると十年後の戸当たり面積は、現状の六十五haから九十haとなることが想定されます。

以上のことからこのまま手を拱いていたのでは、地域の衰退が危惧されることから先ずは足掛かりとしてTMRセンター構想となつたところがあります。

管内における地域農業の盛衰は何と言つても、最大資源、農地の有効活用です。有効活用できる体制構築が急がれます。

将来の地域構想を多面に亘つて共に考え、今年もまた「協同」の精神がより強く発揮できる一年となることを誓いますとともに、皆様のご健勝で過ごされ喜びの多い年でありまして、ご祈念申し上げ年頭のご挨拶とさせていただきます。



年頭ご挨拶



新年のご挨拶

J.A計根別青年部 部長 二瓶 裕 貴

新年明けましておめでとうございませう。

組合員の皆様をはじめ各関係機関の皆様には昨年も青年部活動に御理解とご協力いただきありがとうございます。

昨年は年度初めから宮崎の口蹄疫感染牛の発覚で北海道の酪農家も改めて防疫対策を考えさせられる年となりました。この事から青年部の活動にも影響を及ぼし地区青協で行われる道内からの小学生受け入れ酪農体験ツアーの中止、農林水産省・全国中央会職員の受け入れも十月にずれ込むなど予定通り行事が出来ない年となりました。また六月に二十二年度の乳価が四円二十銭安となり、酪農を経営する上でも厳しい年となりました。

昨年の私たちの活動は五月に

さくらフェア（これは昨年から農協と計総振で企画した行事で名称や内容に青年部の意見が組み込まれました。）にジャンボハンバーグ・チーズゼンザイを出展しました。

六月に交通安全の一環として地域交差点の草刈を実施、九月には別海産業祭にジャンボハンバーグを出展など地域貢献と消費拡大運動を行いました。

消費拡大運動のなかでも力を入れたのは年末のお歳暮ギフトで、今年度からお歳暮部会を立ち上げ、各支部から部会員を選出していただき各役員からの意見を集約しセット内容・青年部の紹介・価格・取りまとめ方法などを考えました。

その結果、野付漁業協同組合・購買部の協力を頂き乳製品オリジナルセット・ホタテバター

セット・鮭と乳製品セットに加えてJ.A中標津に協力していただき、じゃがいも【伯爵】と乳製品セットを製作しました。

皆様方にお買い求めいただき、今回も九五〇セットを超え、沢山の注文を頂き、あらためて消費拡大の意識が浸透していると実感しました。

また十一月に行われた管内青年部大会に青年の主張【意見発表】で杉本 聡史君が最優秀賞、アームレスリングで山本 博一君がチャンピオンと好成績を収め二名共に根室管内の代表として十二月に行われた全道青年部大会に出場し、青年の主張では最優秀位を競い合うものとなりました。前年度は全道大会で太田隼樹君がアームレスリングで準優勝、北海道・東北ブロック大会でも準優勝とすばらしい成

績を残しましたので、これに繋がる物となりました。

また、広報部会による壁新聞も二年目になり、人目を引くよう、より大きな写真や綺麗なレイアウトで作成し、全道青年部大会へ展示、J.A計根別をPRする良い場となりました。

このように沢山の部員に支えられ活動していただき、結束力や行動力が高まって来ていると感じます。年度末まで後四ヶ月を切りましたが、残りの行事をしっかりとこなし支部巡回では皆様の意見や要望を取り入れ、より良い活動をしていきたいと考えておりますので、本年も皆様のご協力宜しくお願い申し上げます。



年頭ご挨拶



年頭のご挨拶

JA計根別女性部 部長 中垣直美

新年明けましておめでとうございませう。

組合員をはじめ、農協・各関係機関の皆様におかれましては、女性部活動に対し多大なるご支援、ご協力を賜り心より感謝申し上げます。

また、女性部員の皆様におかれましては、日頃より女性部活動に参加・協力を頂き厚くお礼申し上げます。

昨年とは言いえずと、春には宮崎県での口蹄疫発生、十月には降って湧いた様なTPP問題で、私たち酪農にとって心穏やかではられない年でした。

しかし、女性部としてはこの様な事態に滅入ることなく楽しく、有意義な活動をし取り組んでまいりました。

十二月には、全部員によりま

す、女性部一大イベント「レディースフェスタ」が行われ、料理の試食やゲームを行い部員同士の交流を深め楽しい時間を過ごしました。

特に今回はチャリティーバザーに加え、支部の作品販売もあり、例年に増して活気あるものになりました。三層活動においては、フレッシュミズ・緑会は趣味や仲間作りに充実した活動を行ってまゝ。青葉会では消

費拡大に力を入れ、例年行っている「お中元セット」の取りまとめを、べつかい乳業興社とのコラボで「女性部限定オリジナルチーズセット」を作り大変手頃な価格で提供でき、喜ばれました。また、地域交流の場である「新そば祭」では、そば粉ホットケーキを試食として提供し、

なつかしい味で美味しいとの声を頂き、ことしも機会があれば、女性部として参加していきたいと考えております。

そして、昨年一月には、女性部として初めて道外視察研修を行い、多くの部員の参加がありました。

秋には、オープンしたばかりの「くるるの杜」への視察研修も行い楽しい思い出となりました。

今年はこのからの活動に加え、各種学習会なども取り入れて、魅力ある活動を行っていききたいと思っております。

最後に本年も皆様にとって事故や病気もなく、健やかに稔り多い年になります様ご祈念申し上げます。上げ新年のご挨拶をさせていただきます。





年頭ご挨拶



年頭のご挨拶

根室農業改良普及センター北根室支所 支所長 西海豊顕

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

組合員の皆様におかれましては、輝かしい新年をご家族の皆様と伴に迎えられたことと存じあげます。

昨年は、春先は寒い日が続き一昨年を彷彿させられました。六月中旬以降は一変して猛暑となりました。猛暑は、暑熱対策が不十分であった農場においては生乳生産量の減少を招き、牧草では栄養成分に対して課題を残し、気象による経営への悪影響を二年続けて受ける結果となりました。また、宮崎県で発生致しました口蹄疫により農場防疫の重要性を再認識いたしました。

更に、年末には突如、TPP

(環太平洋連携協定)を含む貿易交渉の基本方針が決定され、本道農業の根幹を揺るがす方向が示されるなど経営を取り巻く環境は厳しい状況でした。

しかし、農協管内ではTMRセンターの稼働に向けての取り組みがスタートし、計根別酪農の新しい姿としての地域システム構築に向けた組合員の皆様と役職員が一体となった活動の成果が大きく期待されるところです。

厳しい経営環境や気象条件に真つ向から立ち向かい、安全・安心な食料を安定的に提供するために日頃からの更なる経営における基礎体力づくり(土づくり、草づくり、人づくり)を行うことが重要と考えます。

わが家・地域の長所を認識し合い、一つずつ長所を増やすための『戦略会議』を機会在ることを実施して頂きたいと思っております。

普及センターは昨年同様、今年も組合員・ご家族の皆様がより多くの幸せを感じて頂けるよう、計根別農協、中標津役場、別海町役場、関係機関等と連携を強め活動するように職員一同努力致します。

結びに、精力的な営農活動に對しまして敬意を表し、本年も皆様方がご健勝で稔り多い年となりますことを心よりご祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。



計根別乳牛改良連合会講演会



真剣に聞き入る会員

平成二十二年十一月二十五日、計根別農業協同組合 第二・第三会議室にて会員二十五名が出席し『全国ホルスタイン共進会を目指した乳牛改良』と題した講演会をしていただきました。内容は、齊藤氏の農業高校教員として、乳量八、〇〇〇kg体格得点八〇点を目標に教員としてスタートしたが、目標到達までに十五年懸った話や、それまでには優良牛の導入において販売者から農業高校だからと相手にされなかったことや、生徒とのぶつかり合いにおいての葛藤があり苦労したが、酪農への興味関心を持ってもらうことを目的に共進会への参加を生徒中心に行なってきた

した。しかし毎回外周で意欲が低下した事もありましたが、一人一頭の牛を責任持たせ共進会に臨んだ結果、平成七年の千葉での全国共進会から出場を果たし、高校としての共進会での活躍が内外に認められ、生徒家族や先生が涙した感動的な話を交え、とても聞き入る講演会内容でした。また、繁殖を順調に回すことが経営改善の向上につながる。環境として綺麗な環境に良牛が生まれる。として環境改善においての重要性と、今日聞いた内容について一つでも実践する行動力があれば優良な酪農家になれるとまとめ、盛会裏に終了しました。

また、その夜に慰労会を兼ねた懇親会を行ないました。その中で講演会では出

来なかつた質問などを会員が直接、齊藤氏と会話が出来てとても良かったと思います。

《酪農課 萱岡主査》

口蹄疫の影響により中止になった計根別BWに代わる事業を改良部中心に思案して本年度は、乳牛改良に関する若い会員の意識改革を行なうため、改良に著名な講師の講演会を行なうことに決定されました。その中で栃木県的那須拓陽高校が全日本共進会に向けた取り組みを聞きたいとの会員の声から元、那須拓陽高校の教諭で、現、酪農とちぎ農業協同組合技術顧問の齊藤達夫氏に依頼したところ快く請けて頂きました。



講師の齊藤達夫氏

また、その夜に慰労会を兼ねた懇親会を行ないました。その中で講演会では出

来なかつた質問などを会員が直接、齊藤氏と会話が出来てとても良かったと思います。

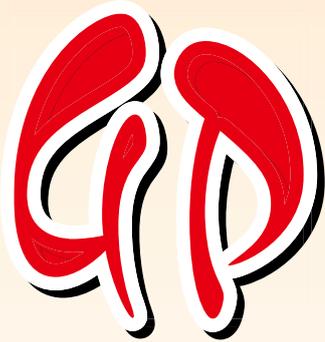


深見課長の乾杯で懇親会が行なわれました



帰りの中標津空港にて

2011



組合員さんと職員のご家族の年男・年女の方に今年の抱負などを語っていただきました



卯年なのになぜか後ろに牛が？

共進
刈田 憲幸さん



普通どおり頑張りたい

大成
熊坂 文雄さん



南部地区



負ける勝負はいたしません！

南本別
佐藤 昭子さん



中学校でも頑張りたいです

中本別
中村 るなさん
(中村 勝彦)



TPP絶対阻止するぞ!!!

酪進
末廣 卓実さん



いつも通り頑張ります

開 栄
宮武 雄一さん



健康に気を付け元気に！

東計根別
大友 義友さん



中学校ではバレーボールを頑張ります

中計根別
喜来 幸音さん
(喜来 清)



東部地区



勉強を頑張りたいです

中計根別
小林 雄輝さん
(小林 雄一)



今年は健康で頑張ります。

中計根別
飯島 裕治さん



「年男...!!」

西計根別
本田 貢さん



今年はバレーボールを頑張ります

西 竹
長谷川 遥さん
(長谷川孝二)



私もバレーを頑張る??? 「エッ?」

西 竹
杉本 艶子さん



健康に気を付けて

若 竹
須藤満寿子さん・宗裕さん



仕事を頑張ります

新 栄
小栗一二美さん



マイペースで!!

新 栄
加藤 好広さん

「みんな一緒に飲もうぜ!!!」 「別にノンベイではありませぬ」



第3の人生がどうなるか楽しみです

東西竹
唐崎 幸司さん



今年の日本シリーズは「日ハム対タイガース」で!!

東西竹
坂井 春男さん



人生はこれからです

東西竹
小館 真一さん



元プロ野球選手の駒田です?!!?

東西竹
滝本 周太さん



今年は勝負の年！
親子共々頑張りま
す

西養老牛
小林 和之さん・千夏さん



あけましておめで
とございます
ウサちゃんです

西養老牛
倉田真奈美さん・瑠美さん



西部地区



今年こそ良い年で
ありますように

上標津
岡田 英行さん



見た目も優しい木
村です。普通に頑
張ります

上標津
木村 智さん



見た目より優しいの
で気軽に声をかけて

上標津
生田 勲さん



元気で長生きしたい

上標津
美馬貴代志さん



何事にも負けずに
ガンバリマッスル!!

上標津
坂地 浩二さん



赤いちゃんちゃん
こを着ても仕事は
頑張ります(笑)

西上標津
西塚 陽子さん



家族共々健康で頑
張りたい

東養老牛
株田めぐみさん



みんな元気で長生
きを...

東養老牛
株田 昭二さん



勉強がんばりま
す!!

東養老牛
井野 忍さん
(井野 世逸)



なるよつになるさ...
ガンバレ!!

東養老牛
遠藤 隆さん



ビックでエッチで
超エッチになるぞ
!!

西養老牛
百崎 一希さん



ビックでリッチで
エッチになるぞ

西養老牛
本田 拓哉さん



今年も家族が健康
で平和な年に

南養老牛
影山かよ子さん



バレエボール全勝
するぞ!!

北養老牛
株田 玲音さん
(株田 宏)



健康で一年暮らせ
ますように

北養老牛
味元 正一さん



子育てを頑張りま
す

旭新養老牛
橘本真由美さん



無理をせずに頑張
りたい

旭新養老牛
太田 成子さん



まだまだ若い者に
は負けません!!

金融共済部 金融課
高橋 美和さん



今年はコンタクト
に挑戦しようかな
!!

金融共済部 共済課
石神亜希子さん



今年はウサギに交
身出来るかな?

購買部 資材生活課
渡辺おり絵さん



職員

女性部

レディースフェスタ

十二月八日中標津町交流センター（計根別）にて、女性部最大イベントである「レディースフェスタ」に部員五十九名と子供七名が参加しました。

今回の各支部試食のメニューは、計根別支部「豚汁」、上標津支部「レアチーズケーキ」、西竹「パンキンパイ」、養老牛「パフォーマーケーキ」、大成「スープカレー」本別「小松菜のチーズ和え」、「ロールキャベツ」。緑会からは「ストリングチーズ巻き」「ストリングチーズサラダ」が出され、どれも本当に美味しく出来ていました。

個人の方からは「シュークリーム」・「漬物」・「切干大根」など『自慢の味』が並びました。

食べた後は、紙切りゲームや果物ビンゴ・五十円玉獲得ゲームを行って盛り上がり、最後の計根別支部の『シユシュ』・本別支部の『子牛の服』販売やチャリティーバザーもとても盛り上がりました。

皆さんお疲れ様でした。 《事務局・岩本めぐ美》



いっぱい食べないとし!!



もっと他にイイ物ないかしら?

こちらどうでしょう?



もっといっぱい買ってよネえ!!



このスカート絶対!!私に私に似合うわよ~



参事・部長が居たって、たくさん食べるわっ!!



背が高いから私の方が長いわよ!!



沢山の部員と子供たちが集まりました



私も「カワイイシユシュ」2つ買ったよ

哺育牛飼養管理講習会

十一月十八日、女性を対象に哺育牛の飼養管理に関する講習会を女性部協賛で行ないました。「カウコンフォート（哺育牛の環境と疾病の調査報告と今後の提案）」として酪農課 深見課長・片岡係、資材生活課 川目課長よりお話をいただきました。二十五名の女性が参加し、哺育牛の保温と換気の両立の大切さ、難しさを勉強しました。また、川目課長より初乳製剤も紹介頂きました。これから寒くなつて、牛舎を閉め切りがちになりますが、なるべく換気をし、良質な初乳を与えて下痢をさせないように頑張っていきたいと思います。

《酪農課 片岡美幸》



帰りに「どうぞ〜」



講師の片岡係…真剣です



私の「昼ゴハン」にスルわよ♥

法人道民税・事業税の申告は便利な電子申告で!

eLTAX（エルタックス＝地方税の電子申告）は、インターネットで自宅やオフィスから申告ができる他に、たくさんのメリットがありますのでご利用ください。

電子申告手続きの詳しい情報については次をご覧ください。

- ・eLTAX ホームページ <http://www.eltax.jp/>
- ・北海道 総務部 財政局 税務課ホームページ

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sm/zim/dshinkoku/index.htm>

（問い合わせ先）根室振興局 税務課 課税係 0153—24—5479（直通）

牛乳
消費拡大を
願って...

乳製品お歳暮ギフト発送!!

この季節、毎度お馴染
となりました、青年部乳
製品お歳暮ギフト！

皆様から多くの注文を
いただき、今年はなんと
九六三セットのギフトが
全国各地へ送られまし
た。

一昨年は七五六セット、
昨年は九五二セットと
年々増加しており、使っ
ていただいた皆様には本
当に感謝しております！

また、今年も青年部部
員で詰込み・包装を行いました。
今年は届いた皆様が少しでも満足していただけるよう、事
前に包装の練習も行
いました。まだまだ、
雑なところがあるか
もしれませんが、目
をつぶって頂けたら
幸いです。



先月号の表紙を飾りました
お歳暮部会(十三役一部)とお歳暮ギフトの集合写真

来年はさらに良い
ギフトになるよう部
員一丸となり、アイ
デアを出し合ってい
きますので、来年も
またまたよろしくお
願い致します！

《事務局 吉田和弘》



1つずつ丁寧に詰め込みました。
届いた方の笑顔を思い浮かべて...



1年間を思い出して、食べて飲んで...
たまには許して下さい!!
「えっ!? たまにじゃない!!」



青年部にマスコット
キャラクター誕生!!
本田広報部会長よりお披露目!!
後日、広報紙面で
名前募集するかもです!

初めに言っておきますが、字は間違っておりません! 我が青年
部は年を忘れる「忘年会」ではなく、年を望む「望年会」なのです!
望年会は十二月九日(木)にホテルマルエーで開催され、一年
間の思い出話などに華を咲かせ、大いに盛り上がりました。
二十三年も計根別農協青年部は多くの活動で乳製品消費拡大や
地域貢献に努めてまいりますので、よろしく願い致します!

《事務局 吉田和弘》

1年間お元気様です!
23年もまたお願い致します!
——望年会——



環境整備で効率UP!

新年を迎え、新しい気持ちで仕事や生活に向き合っている方も多いのではないだろうか。住居は、大掃除を終えて新年を迎えた方が多いと思います。が、仕事場の牛舎の方はいかがですか。日頃の清掃で間に合うからと大掃除をしない家も増えているようですが、この時期に作業環境の整備も考えてみませんか。



搾乳機器衛生管理ボード
洗浄・清掃は仕事の一部分です

日常管理で美しさキープ

『使ったものは決まった場所にしまえば、特別なことをしなくても部屋はきれいに保てるでしょ』

これは片付け上手さんの一言です。

『それはわかっているんだけど、できないよ』と思っただけ、処理室などを見回してみてください。使用済みの物が転がったり、洗剤等の日用品が乱雑に積み上がっていたりということはありませんか。

片付けが苦手な方は、物の収納場所が決まっていない、足り

ていない等の事例が散見されます。まずは収納場所を決めること、収納場所がない場合は棚や収納ケースの設置などからはじめてみませんか。

せっかく収納しても、なにがどこにあるか分からないようでは、整理整頓といえません。ラベルの利用などをして、使う人みんながどこにあるか分かる環境をつくりましょう。



収納ケースの利用で
処理室の整理整頓

清掃を習慣づけましょう

『使った後の洗面台は、毎回から拭きして水気をきっておく。そうすれば水垢もつかないし、から拭きは癖になっっているから特に大変じゃないわ』

これまた片付け上手さんの一言です。概して、片付け上手さんは清掃や片付けを生活や仕事の一部としていて、特別に大変な感じではないようです。

汚れやすい場所は決まっています。例えばバケツトミルカー、ほ乳びんなど使ったらすぐに洗浄することを習慣にしておけば、それほど苦にすることなく

管理ができます。

もちろん酪農は普段の仕事に清掃やミルカー洗浄が組み込まれていることと思います。クリーンな環境は牛にとっても人間にとっても気持ちが良いもの。また衛生的な環境で生乳を生産することは、酪農家に求められている責務です。

普段の心がけと働きで、きれいな作業環境を実現させていきましょう。



バケツトミルカーの
保管管理は衛生的に

記録は活用・共有しましょう

平成十八年五月から、ポジティブリスト制度が開始されています。それに伴い酪農家のみなさんは、抗生物質使用記録、生乳生産管理記録、給与飼料記録、農薬使用記録、農場内消毒記録への記録・保管に取り組みれています。

この記録・記録の保管は『日々、安全な生乳を出荷している』ことの再確認であるとともに、万一食品事故が起こった場合にも、出荷した生乳について適正に生産していたことを説

明できる根拠となり、「自分の身を守るため」の証拠にもなる」との趣旨で実施されています。

せっかく記録するのでしたら、活用したいもの。また記録した内容は、記録者だけでなく、作業に従事する人全員が分かっているべき情報です。例えば抗生物質の混入事故も、抗生物質使用記録が作業従事者全員で共有できていれば防げるはず。それをするためにバンドやマーカーをつかって、治療牛を誰がみても分かるように取り組まれています。

酪農には、繁殖など、従事者全員が共有、「見える化」して管理していった方が効率的で効果的と言うことがたくさんあります。

作業効率UPを目指して、環境整備や記録の活用にとりくんでみませんか。



バンドやボードの
利用で抗生剤使用
を「見える化」



交通死亡事故速報

平成22年12月13日
中標津警察署

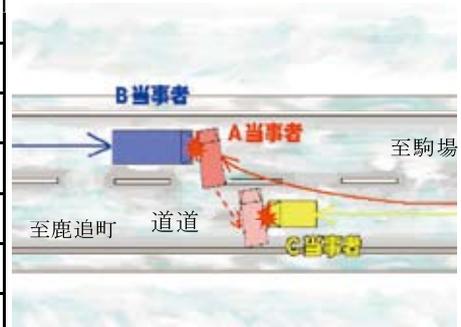
3台絡みの衝突で3人死亡！

早朝の凍結路面でスリップ！

〔事故の概要〕

態 様	普通貨物×大型貨物×普通乗用					
日 時	平成22年12月12日（日）午前7時47分ころ					
場 所	河東郡音更町字上然別西7線104番地（道道）					
天 候	晴れ			路面凍結		
当 事 者	当事者等	居住地	性別	職 業	年齢	死傷
	A 普通貨物	音更町	男	会社員	55歳	死亡
	B 大型貨物	帯広市	男	運転手	67歳	軽傷
	C 普通乗用	帯広市	男	団体職員	59歳	軽傷

〔現場の様相〕



A当に同乗の44歳・男性、61歳・男性死亡

交通事故を起こさない、遭わないために！

○ 運転者の皆さんへ！

- ・ 凍結路面等の冬道では、急ハンドル・急ブレーキ・急加速などの「急」の付く動作はスリップの原因となりますのでやめましょう！
- ・ 冬道で対向から大型車が来ている場合に、左に寄ろうとハンドルを切ったり、減速しようとブレーキを掛けてスリップする場合があります。
初めから適正な進路を保って運転し、大型車とすれ違う場合でも不要な運転操作は控えましょう！
- ・ この季節には、天候・路面状況が急変する場合がありますので、路面状況を確認しながら運転しましょう！

振り込め詐欺にご注意！

- ・ 大丈夫？ 振り込む前に再確認！
- ・ 見破って、だまされた振りをして、その情報を最寄りの警察にお寄せ下さい。

～「交通死亡事故多発非常事態宣言」発表中～

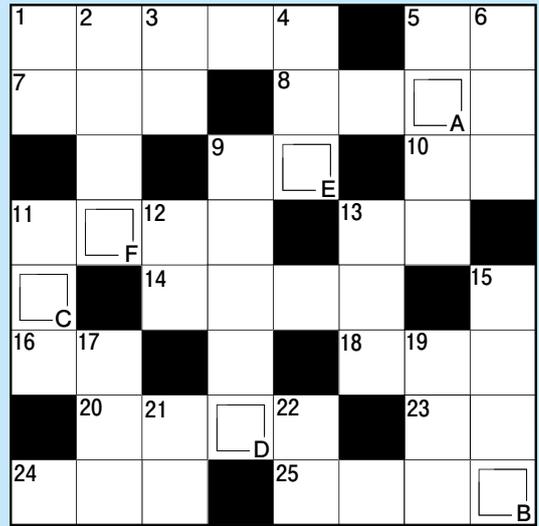
【タテのカギ】

- 1 夏はじっとしていてもひたいからタラリ
- 2 ハワイにある有名なビーチ
- 3 立+日=?
- 4 スモウレスラー
- 5 夏といえばやっぱりこの飲み物!
- 6 ひも状の和紙
- 9 高校球児の夏の聖地
- 11 約束の時間に間に合わず
- 12 豆乳から作る薄皮
- 13 チリトリの相棒
- 15 聞くと涼しくなれる怖い話
- 17 サハラ、ゴビ
- 19 成長期にグングン伸びる
- 21 サザエやシジミなど
- 22 他人の財布を狙う

【ヨコのカギ】

- 1 8月に行われる徳島のビッグイベント
- 5 嫁のパートナー
- 7 教え子、弟子
- 8 祭りの時にすくう
- 9 ウドンの弾力
- 10 積もれば山となる
- 11 金星と火星の間
- 13 「海鞘」と書く三陸の海の珍味
- 14 「閑さや岩にしみ入る蝉の声」という俳句を詠んだ
- 16 ウシの主食
- 18 夏休みに田舎に戻ることに
- 20 長期の休暇
- 23 無料、フリー
- 24 医者やナースの制服
- 25 パスポートを日本語でいうと?

クロスワードパズル



● 正解者5名の方にすてきなプレゼントをさしあげます。なお、正解者多数の場合は抽選とさせていただきます。

《応募方法》左下の点線の部分を事務所内(販売機横)の投書箱へ。または、組織広報係までFAX(78-2556)お願いします。

《締め切り》平成23年1月20日まで
12月号、1月号の当選者の発表は広報「けねべつ」2月号誌上



きりとり線

クロスワードパズル

住所 _____

氏名 _____

TEL _____

答え

A	B	C	D	E	F
<input type="text"/>					

ご意見をお寄せ下さい。(季節の便りなど何でもけっこうです)

きりとり線

12月号抽選の延期について

いつもJAけねべつ広報をご覧いただき誠にありがとうございます。

また、クロスワードパズルにも積極的に参加していただき重ねてお礼申し上げます。

さて、この度の、十二月号、一月号につきましては都合により発行期間が短くなった為、両号の抽選を誠に勝手とは存じますが一月二十日とさせていただきます。

これからもクロスワードパズルのご参加をお願いすると共に、皆様の近況や広報に対するご意見やご感想をお寄せいただければ幸いです。

営農部 営農企画課 大矢根裕辞

TPP(環太平洋連携協定)根室管内総決起大会 ～断固阻止を訴えた～

12月4日ウエディングプラザ寿宴にてT P P 交渉参加断固阻止を掲げ根室管内総決起大会が開催され管内から酪農家をはじめ各関係機関が集結し、『T P P への参加阻止』『例外措置としての重要品目の関税維持』『国民の合意形成』について理解と賛同を強く訴えました。

尚、T P P による北海道への影響は総額で2,570億円だそうで、雇用についても21千人に影響が出るのではないかといられています。



農業関係者約600人の中で堂々と決意表明をした鈴木直良さん
【J A 根室地区青年部連絡協議会会長】

